

新町西地区市街地再開発事業建築計画の内観デザイン等に対する意見について

平成27年1月20日に開催した徳島市都市デザイン委員会では、新町西地区市街地再開発事業建築計画の内観デザイン等について、設計者からホールの内観デザイン等に関するコンセプト、内装材料及び色彩計画に関する説明があり、それに対する質疑応答及び意見が述べられました。

各委員から出された意見は、次のとおりです。

(1) 外観について（前回保留事項）

大ホール棟低層部化粧パネルについては、例えば川面に映るきらめきなどをモチーフにファサードを作るなど、徳島の土地的なイメージをデザインに反映させるよう心掛けてほしい。

(2) 大ホール棟

- ① ホールの内装について、“木のしつらえ”が感じられるデザインをコンセプトとするのであれば、木質調などの擬似材料の使用はやめ、徳島の地場木材を使用することにより、温かみや質感を重視した内装としてほしい。
- ② 客席の壁面に取り付けられた舞台照明（サイドスポット）は、観客の視野に入らないようにしてほしい。
- ③ 客席を千鳥配置とするなど、どの席からも舞台が見える座席配置としてほしい。
- ④ 座席シートを「藍色」とするならば、それに見合った色を選定してほしい。
- ⑤ 人形浄瑠璃にも対応できる機能を備えたホールとしてほしい。
- ⑥ エントランスホールについては、市民参加やアート計画を取り入れることで、芸術性と個性が感じられる豊かな空間を造り出してほしい。

(3) 小ホール棟

- ① 客席の壁面に取り付けられた舞台照明（サイドスポット）は、観客の視野に入らないようにしてほしい。
- ② 座席シートは、上質な雰囲気としてほしい。
- ③ ホワイエは新町川が見えるいい場所であることから、その立地環境を生かした空間としてほしい。
- ④ エントランスホールは、スペースの狭小さや閉鎖感の緩和として、隣接する店舗部分との一体的な空間利用や新町川に向けた空間演出を検討してほしい。
- ⑤ エントランスホールは、階段配置やエレベーター台数、待機客のキャパシティなどを再検討し、上階ホールへの導入部として、期待感を繋げる空間としてほしい。
- ⑥ ホールの内観が外観デザインを意識したデザインとなっているとするならば、エントランスホールについても、同様に考えてほしい。
- ⑦ エントランスホールに掲示スペースを設けるならば、JRや市バスとの連携など、徳島駅前との一体性確保のための情報発信の手法を検討してほしい。